

「トトロのお話し会(中島)」が 文部科学大臣表彰を受賞



受賞を市長へ報告するメンバー

平成7年の中島図書館の新館オープンをきっかけに、13年間にわたって子どもたちに本の読み聞かせ活動をしている「トトロのお話し会」が、子どもの読書活動優秀実践団体として表彰を受けました(県内からは1団体)。



幅広い活動にチャレンジ!

中島図書館のシンボルとして、入り口に飾られているアニメ「となりのトトロ」のぬいぐるみが名前の由来。メンバーは18名で、毎月1回のお話し会をはじめ、保育園児を図書館へ招待したり、朝の読書時間に中学校へ出向くなど活動は活発です。地元の民話集「いろり火」を絵本として編集し、「民話探検ツアー」を開催するなど、地域密着で歩んできた足跡がしっかりと記されています。さらには年1回開催している「夏の夜のお話し会」や「クリスマスのお話し会」では、『演劇のまち』らしく、能登演劇堂を利用して、民話や絵本をメンバー自らがセリフ作りから出演まで手がける「創作劇」までこなすと聞き、メンバーの底知れぬパワーには驚くばかりです。



夏の夜のお話し会で役に扮するメンバー

読み聞かせから工作まで

お話し会をのぞいてみると、20人ほどの親子連れが訪れており、会場にはじゅうたんが広く敷かれ、子どもと大人が同じ目線で参加していました。絵本の朗読から始まり、紙芝居、工作と子どもたちを飽きさせない工夫がされており、メンバーは、「自分が楽しんでやってるんです。」「自分の子どもにはしてあげられなかったので、孫たちのために。」と話していました。地道な活動に自然と人が集まって来ます。



お話し会で工作を楽しむ親子

「お話し会には工作が楽しみでよく参加します。」と話す、遠藤由里さん・海空ちゃん・海音ちゃん(写真左から)



(取材を終えて)
お父さん、お母さん、おじいちゃんにおばあちゃん、本さえあれば誰でも気軽にできる「読み聞かせ」。短い時間でもいいので、本を通じて子どもの心にそと寄り添ってみてください。そこにはかけがいのない家族の絆があるはずです。

③「お話し」のいこころ
映像と違い、何度も繰り返し好きなところを読んであげることがができます。想像力もきつと大きく膨らんでいることでしょう。

②いつ頃から読んであげるの？
赤ちゃんがお母さんのお腹にいる頃から語りかけて下さい。文字が読めるようになっても高学年まで続けて下さい。

①「心」に語りかける

いつも聞き慣れている家族の声が一番。子どもの心に語りかけて読むことで子どもは安心して、そこから家族の絆が生まれます。



読み聞かせの
アドバイス

ふるさと七尾を応援してください!!

わくわく・ななお応援隊

ふるさと納税

ふるさと納税とは

生まれ育ったふるさとや愛着のある地に「寄附」をすることによって応援しようという制度です。

「ふるさとのために何かしたい」という、全国の皆さまからの善意・厚意（5,000円を超える額）を寄附した場合、個人住民税や所得税を一定限度まで税額から控除します。寄附先は出身地に限らず自由に選ぶことができます。

「ふるさと七尾」へ皆さまからの温かい思いをお届けください。

寄附の方法

はじめに寄附申込書を送付していただきます。郵便、ファックス、電子メール、電話のいずれかでお取り寄せください。

払い込みの方法

- ① 市から送付する納付書
- ② 口座振込
- ③ 現金書留
- ④ 直接現金を持参

寄附金の使い道

<p>芸術・文化の振興</p>  <p>例：祭りの伝承 演劇文化の振興など</p>	<p>教育の充実</p>  <p>例：子どもの健全育成 教育環境の充実など</p>	<p>産業の振興</p>  <p>例：地方産業の振興 耕作放棄地対策など</p>
<p>生活環境・都市基盤の整備</p>  <p>例：防災体制の整備 緑地の整備など</p>	<p>福祉・医療の充実</p>  <p>例：子育て環境の充実 高齢者福祉の充実など</p>	<p>自然環境の保全</p>  <p>例：七尾湾・ふるさとの 川の保全など</p>

ふるさとを応援する人



寄附

税金の軽減



七尾市



お住まいの市区町村

※お問い合わせ・お申し込み先は

〒926-8611

石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
七尾市役所総務部税務課

☎0767-53-8414

FAX 0767-53-2553

電子メール

zeim@city.nanao.lg.jp

URLhttp://

www.city.nanao.ishikawa.jp

(寄附申込書ダウンロード)